

競技注意事項（クラブ対抗の部）

- 2018年日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
 - スタート信号は電子音で行う。
 - スターターの合図は日本語で行い、同じ選手が2回の不正スタートで失格となる。
 - T I C（選手案内所）は、正面玄関に設ける。
- 招集について
 - 招集時間
 - 種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので、裏表紙の競技時間表で確認のこと。
 - 招集完了時刻には、移動が開始できるように余裕をもって集合すること。
 - 招集所は、主競技場・第1ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。
 - 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。
 - 招集時にスパイクピンを確認する。（9mm以下・走高跳びは12mm以下）
 - 招集に遅れた選手は出場を認めない。
 - 但し、同時刻にリレーに出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係（招集所）に申し出ること。
 - 競技会場への入場は、招集完了後、選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
 - リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所（競技者係）に提出し、その上所定の時間に招集を受けること。（決勝時においては変更ある場合のみ提出） オーダー用紙はT I Cにあります。
 - リレー種目は4人のユニフォームを揃えること。招集所でチェックする。
 - 電子機器類の競技場への持込を禁止する。（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）
 - 招集所で持ち物をチェックすることがある。
- トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。
 - 但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
- 各種目8位までの入賞者・チームは表彰を行う。入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室に集合すること。リレー種目と兼ねている者は、指導者が責任をもって代理を出すこと。（式進行上、集合なき選手がいても実施する）
 - 対抗の部の表彰は全競技終了後行うので、選手はメインスタンド前に集合のこと。
- 800m予選のスタート方法は、オープンスタートとする。
 - 決勝はセパレートコースによるスタートになるので、選手にブレイクラインを周知しておくこと。
- 小学生の走高跳はマットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
 - バーの上げ方

練習	開始							
1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	

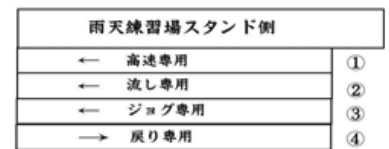
 - 1位決定のためのバーの上下2cm
- ジャバリックボール投の助走距離は15m以内とし、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。（羽だけを持って投げることは禁止する。）
- 投てき練習は、競技会場で実施するので、補助競技場、競技場周辺での練習を厳禁する。
- 走幅跳のピットは、メインスタンド側よりAピット、Bピットとする。
- 走幅跳・ジャバリックボール投げについて、1回目は全員計測するが、2回目からは計測ラインを超えた者のみ測定する。計測ラインは、1回目の結果から決定し、選手・場内に通告する。
- スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。（素足は禁止する）

12. 競技場内へは、出場選手及び競技役員以外の立ち入りを禁止する。また、メインスタンド1階への入場は、競技役員のみとする。
13. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。
14. 補助競技場の使用については、次のことを厳守する。

- 選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。（IDで規制する）
- ベンチを設置することを禁止する。
- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 1レーンは、長距離のペース走専用とする。2～3レーンは、流し等の専用とする。
直走路4～7レーンはスタートダッシュ専用とする。8レーンはハードル専用とする。
- リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。
- 走幅跳の練習は所定のピットで行う。
- 投てきの練習は禁止する。
- 走路及びピットに立ち止まっての指導等を禁止する。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、直走路の横断は厳禁とする。
- その他、審判員の指示に従うこと。

15. 雨天練習場は使用可とする。

- スタンド側より
1レーンは、高速専用とする。2レーンは、流し専用とする。
3レーンはジョッグ専用とする。4レーンは戻り専用とする。



オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

- 走路の横断は厳禁する。
- 全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。

16. その他

- 雨天時及び雨天後は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する場合は、指導者が十分に気をつけて指導すること。
- 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。
- スタンドは防水処理加工がされているため、ベンチでの重石やスパイク着用での歩行を厳禁する。
- メインスタンドにテントの設置を禁止する。15列目から上の席にベンチを置くことは可とする。
- プログラムの訂正は8時30分までにT I C（選手案内所）まで申し出ること。
申込不備による訂正は受け付けない。競技開始後の訂正は一切受け付けない。
- 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。
- 持ち物の保管は各自で責任を持つこと。万一の事故があっても責任は負わない。
また、カラス被害に注意のこと。
- 横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）
- 三重県ジュニアオリンピックの100mとジャベリックスロー競技を同時開催とする。
- 主競技場の練習は 8:00～8:45までトラックのみ使用できる。

17. ルール改正にともない下記の点に注意すること

- リレーオーダー用紙提出後は選手の変更はできない。
- リレーにおけるテークオーバーゾーンは30mと変更になり、テークオーバーゾーン内からスタートしなければならない。

競技注意事項（ジュニアオリンピックの部）

- 2018年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項によって実施する。
 - スタート信号は電子音で行う。
 - T I C（競技者案内所）は、正面玄関に設ける。
- 招集について
 - 種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので、裏表紙の競技時間表で確認のこと。
招集完了時刻には、移動が開始できるように余裕をもって集合すること。
 - 招集所は、主競技場・第1ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。
 - 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。但し、同時刻に多種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係（招集所）に申し出ること。
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は出場を認めない。
 - 招集時にスパイクピンを確認する。
 - 電子機器類の競技場への持込を禁止する。（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）招集所で持ち物をチェックすることがある。
- 競技場への入退場について
 - 競技会場への入場は、招集完了後、選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
 - 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。
- 競技について
 - 第1日目は、第23回三重県小学生クラブ対抗選手権と同時開催とする。
 - トラックの競技
 - 短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること
 - 3000m競走において、周回遅れが出た場合、競技運営上、レース途中で中止させることがあるので、選手は審判の指示に従うこと。
 - ハードルの規格は下記のとおりとする。

	男子A	男子B	女子A	女子B
高さ	0.991m	0.914m	0.762m	0.762m
ハードル間	9.14m	9.14m	8.50m	8.00m

○フィールド競技

- トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
- 走幅跳のピットは、メインスタンド側よりAピット、Bピットとする。
- 投てき物の重さは下記のとおりである。

	男子A	男子B	女子A	女子B
砲丸	5.0kg	4.0kg	4.0kg	2.712kg

	男子共通	女子共通
円盤	1.5kg	1.0kg

(4) フィールド競技の計測ラインは次のとおりである。

男子B	走幅跳	5m20	男子A	砲丸投	9m00
男子C	走幅跳	4m40	男子B	砲丸投	8m50
女子B	走幅跳	4m40	男子AB共通	円盤投	28m00
女子C	走幅跳	4m00	女子A	砲丸投	8m00
男子共通	ジャベリックスロー	40m00	女子B	砲丸投	8m50
女子共通	ジャベリックスロー	30m00	女子AB共通	円盤投	23m00

(5) 走高跳のバーの上げ方は次のとおりである。

	練習	開始					
男子A	1m50・60・70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3cm
女子A	1m30・40・50	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以後3cm

1位決定のためのバーの上下は2cmとする。練習の高さは状況に応じて審判長が変更する場合がある。

5. 表彰について

各種目8位までの入賞者は表彰を行う。入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室に集合すること。

6. 競技用靴について

スパイクのピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイク先端の直径はすべて4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

7. 練習場について

(1) 補助競技場の使用については、次のことを厳守する。

- 選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。(IDで規制する)
- ベンチを設置することを禁止する。
- ジョグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 走路及びピットに立ち止まっての指導等を禁止する。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、**直走路の横断は厳禁とする。**
- その他、審判員の指示に従うこと。

◇第1日目は小学生大会と同時開催の為、手本となるような態度で、周りに十分注意しながらウォーミングアップを行うこと。

直走路4～7レーンはスタートダッシュ専用とする。

◇第2日目は下記のとおりとする

- 内側の1・2レーンは、長距離のペース走専用とする。
- 内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
- 外側の7・8レーンはハードル専用とする。
- 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
- 投てき種目の練習は禁止する。(メディシンボール、ジャベリック等を含む)

3. 雨天練習場の使用について

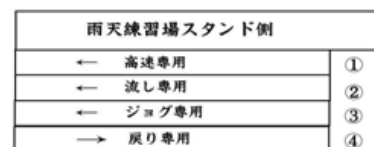
○スタンド側より

1レーンは、高速専用とする。2レーンは、流し専用とする。

3レーンはジョグ専用とする。4レーンは戻り専用とする。

○**走路の横断は厳禁する。**

○全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。



柱 柱 柱
オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

8. 競技場について

- (1) 競技場内へは、出場選手及び競技役員以外の立ち入りを禁止する。また、メインスタンド1階への入場は、競技役員のみとする。
- (2) スタンドは防水処理加工がされているため、ベンチでの重石やスパイク着用での歩行を厳禁する。
- (3) メインスタンドにテントの設置を禁止する。15列目から上の席にベンチを置くことは可とする。
- (4) 横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）
- (5) 競技場周辺及び補助競技場における投てき練習は禁止する。
- (6) 競技場、競技場周辺住民にも迷惑をかけないようにゴミ等は、各自自宅まで持ち帰ること。
- (7) 持ち物の保管は各自で責任を持つこと。万一の事故があっても責任は負わない。
また、カラス被害に注意のこと。
- (8) 主競技場の練習はトラックのみ以下の時間で利用できる。

1日目 8:00～8:45 2日目 8:00～9:30

9. その他

- (1) 1日目は、第23回三重県小学生クラブ対抗選手権を同時開催とする。
- (2) 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

10. 全国ジュニアオリンピックについて

- (1) 今大会終了までに、参加標準記録を突破した選手。
- (2) 参加標準記録の突破者がいない種目は、今大会優勝者1名が参加できる。
Aにおける高校生は、標準記録突破者に限られます。
- (3) 全国大会の申し込みは、今大会中に行うこと。